

●本書「目次」より

- はじめに
- 一 アメリカ行
  - 二 北海道―台湾―東京
  - 三 渡米協会
  - 四 社会主義協会から平民社へ
  - 五 片山潜の渡米
  - 六 『社会主義』
  - 七 直行団
  - 八 普通選挙同盟会
  - 九 『渡米雑誌』
  - 十 国家社会党
  - 十一 普通選挙連合会
  - 十二 片山潜との訣別
  - 十三 『小学生』と『最近渡米案内』
  - 十四 電車賃値上げ反対運動
  - 十五 『亜米利加』
  - 十六 米友倶楽部と排日問題
  - 十七 『日米通信』
  - むすび
  - あとがき―その後の山根吾一と山根千世子
  - 人名索引

●関連図書のご案内

# 日本人カナダ移民史

佐々木敏二著

- A5判・上製・三〇四頁
- 定価Ⅱ本体六、〇〇〇円＋税
- '99年8月刊

ISBN4-938303-05-1

本書は、戦前、カナダへ渡った「日本人移民」の歴史を、滋賀・和歌山両県を中心として、出移民と移住地での定住過程を結びつけ、体系化した、著者の永年の実証的研究成果が結実した労作である。

## ●関連図書のご案内

### カナダ移民史資料「復刻版」全五巻

- 佐々木敏二 編集・解説
- A4判・A5判・B6判・上製・総二、六六四頁
- 揃定価Ⅱ本体九八、〇〇〇円＋税
- '95年5月刊

ISBN4-8350-2283-1

本書は、明治、昭和戦前期のカナダ日本人移民に関する基本・重要文献を復刻したものである。

- 〈収録文献〉『加奈陀同胞発展史』（明治42年5月・大陸日報社編）『加奈陀同胞発展史 第二』（大正6年8月・大陸日報社編）『加奈陀同胞発展史 第三』（大正13年8月・大陸日報社編）『加奈陀同胞発展大鑑 附録』（大正11年11月・中山訊四郎著）『須知武士道漁者慈善団体三十五年史』（昭和10年11月・小林貞二著）『足跡』（山崎寧翁伝記編纂会編著）
- 推薦Ⅱ飯野正子・原口邦紘・三輪公忠

### カナダ移民史資料Ⅱ「復刻版」全六巻 別冊一

- 佐々木敏二・権並恒治 編集・解説
- B5判・A5判・上製・総四、一一六頁
- 揃定価Ⅱ本体一四八、〇〇〇円＋税
- '00年6月刊

ISBN4-8350-1235-6

本書は、『カナダ移民史資料』の第2集として復刻するものである。

- 〈収録文献〉『加奈陀在留邦人々名録』（大正15年6月・吉田龍一編）『ビシー州日本人電話帳』（1931年7月・大陸日報社刊）『在加奈陀邦人々名録』（昭和16年9月・大陸日報社刊）『加奈陀同胞発展大鑑 全』（大正10年7月・中山訊四郎著）『在加同胞労働調査』（1923年・加奈陀日本人会編）『加奈陀日本人農業発展号』（昭和5年10月・加奈陀日々新聞社）『加奈陀日本人』（昭和15年10月・中山訊四郎著）『海外移民が母村に及ぼした影響』（1953年2月・福武直編）『湖東移民村の研究』（1964年3月・立命館大学人文科学研究所編）『黒湖の涯に』（1974年1月・林林太郎著）

●表示価格は、全て税別。

**不二出版**  
〒113-0011  
東京都文京区向丘1-11-11  
TEL03(3811)4433  
FAX03(3811)4464  
振替0016012190084

## 岡林伸夫Ⅱ著

### ある明治



### 社会主義者の肖像

山根吾一覚書

### 『渡米雑誌』主幹 山根吾一

片山潜・西川光次郎と、  
またある時は幸徳秋水・堺利彦と、  
そしてまたある時は木下尚江や  
石川三四郎・山路愛山といった  
著名な名前に囲まれて登場する

#### の人物像。

その生涯を数少ない  
資料から描き出す。

四六判・上製・三五六ページ  
定価Ⅱ本体三、八〇〇円＋税

不二出版

●二〇〇〇年3月刊行

はじめに

いきなりあいまいな記憶から始めて、恐縮してしまふ。だれがどこで書いていたのか忘れてしまったのだが、ある研究者が《一人おかれた》人物の研究をしようと言ったとかいう話を読んだことがある。複数の人々が写った歴史的な写真がある書物に掲載される。その欄外に、写っている人物の氏名を紹介して、たとえばこんな説明がつけられる。「前列左から〇〇〇〇、△△△△、一人おいて×××」。この「一人おいて」とされて飛ばされてしまった人物について考えようというのだ。……

山根吾一が、実際にある写真において《一人おかれた》人物であったというわけではない。おそらくそのような状況を作りだしうる写真すら存在しないのだろう——私がついに見ることのできた唯一の山根の写真は、当時彼が出版していた雑誌の表紙に印刷されたポートレートだが、そこには欄外に「山根吾一」と明記されている。もちろん山根本人が編集しているのだから、明記されていて何の不思議もない——。結局調べてみたところ、現在においては、彼の名前だけは研究書などでときどき見ることができるとある。ある時は片山潜や西川光次郎、またある時は幸徳秋水や堺利彦、そしてまたある時には木下尚江や石川三四郎や山路愛山、といった著名な名前に囲まれて。……

本稿ではこうして知り得た山根吾一の行動の全容を、逐次紹介していくことにする。いわば破片の一つ一つをつなぎあわせて一枚の絵を作るジグソーパズルのように、史料の一つ一つをつないで山根の肖像を描くというわけである。とはいっても今まで述べてきたことだけからでは、読者諸氏に山根に対する興味を持って拙文を読み進めていただくことは難しいかもしれない。だから一つだけ、山根がなにかを示す史料を最初に紹介しておこう。……

あとがき——その後の山根吾一と山根千世子

本書は『同志社法学』に全六回(第二四三・二四五〜二四八・二五〇号)にわたってそれぞれ別の表題で連載したものを一つにまとめたものである。というよりも、もともとは一つづきの原稿として書いて連載時に分割したものであるから、今回元の形にもどして加筆訂正したわけである。ただし諸般の事情から、加筆訂正は最小限にとどめた。最大の加筆、つまり山根吾一のその後についてはこの《あとがき》において述べることになる。……

ところで、原稿を書き終えてからもう四年以上もたってしまったため、その後判明した山根吾一に関する事実が数々ある。そのうちごく一部の本文にかかわるものは今回加筆したのだが、大部分は書き加えないままになってしまった。なぜならそれが、『亜米利加』を廃刊して行方不明となった後の山根に関するものだからである。それをこれから述べることにしよう……

●弊社は注文制です。お近くの書店へご注文ください

●発行所

不二出版

〒113-0023 東京都文京区向丘1-2-12  
TEL 03-3812-4433 FAX 03-3812-4464

注文カード

帖合・貴店名

冊数 冊

摘要	書名	発行所
	ある明治社会主義者の肖像「山根吾一覚書」 ISBN4-938303-12-4 C3023 ¥3800E	不二出版 岡林伸夫
定価=本体3,800円+税		

年 月 日注文

住所氏名

様